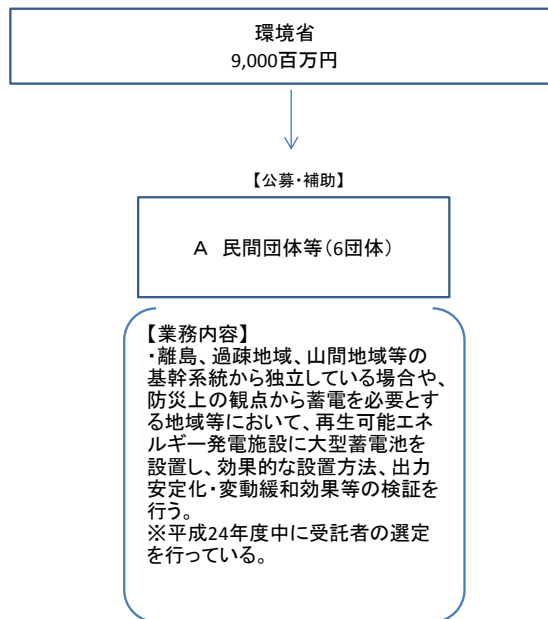


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	再生可能エネルギー導入のための蓄電池制御等実証モデル事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度(1次補正)		担当課室	地球温暖化対策課		調整官 神谷洋一			
会計区分	一般会計		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画、京都議定書目標達成計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	再生可能エネルギーの中でも、太陽光発電や風力発電は発電電力量が気象条件に依存するため、安定した出力を確保することが困難な課題を有しており、系統連系に支障を来す事例が存在している。再生可能エネルギー発電施設に蓄電池を導入し、効果的に活用することにより、課題を克服し、再生可能エネルギーの大幅な導入拡大を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	離島、過疎地域、山間地域等の基幹系統から独立している場合や、防災上の観点から蓄電を必要とする地域等において、再生可能エネルギー発電施設(太陽光発電及び風力発電を想定)に大型蓄電池を設置し、効果的な設置方法、出力安定化・変動緩和効果等の検証を行い、制御手法等を確立する。(定額:全額補助)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算			9,000	-			
		繰越し等			△9,000	9,000			
		計			0	9,000			
	執行額				-				
	執行率(%)				-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	出力安定化等の検証を行い、制御手法等の確立を目的とする事業であることから、その効果を定量的に評価することは困難。			成果実績	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	事業実施件数			活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
						(-)	(-)	(6)	
単位当たりコスト	- (円/ -)			算出根拠	成果実績がないため、算出困難				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	-	-	-	平成24年度限りの事業					
	計	-	-						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界的な温暖化対策は必須である。 ・電力会社及び発電事業者にインセンティブがないことから、国が実証する必要がある。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者の選定に当たっては公募を行い、内容を審査のうえ採択しており、競争性が確保されている。 ・電力会社及び発電事業者にインセンティブがないことから、定額補助としている。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	経済産業省事業は、蓄電システムや、系統安定化用蓄電システムが将来円滑に普及するために必要な要素技術の開発を行うものであり、大型蓄電池を設置し、効果的な設置方法、出力安定化・変動緩和効果等の実証を行う本事業とは、役割分担がなされている。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
		新エネルギー系統対策蓄電システム技術開発事業	経済産業省資源エネルギー庁			
点検結果	大型蓄電池の効果的な設置、出力安定化・変動緩和効果による再生可能エネルギーの導入拡大の観点から、効果が大きくなるよう案件を選定して執行する。					
外部有識者の所見						
本事業は、平成24年度補正予算で措置された事業であり、資材の入手難等の理由で繰越したものである。事業の執行が進んでいないことから、翌年度に外部有識者の点検を受けることとする。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)